

乞揭示



Colloquium Lecture, Department of Mathematics, Faculty of Science, Kobe University

神戸大学理学研究科数学教室談話会

日時：2010年6月16日(水)17:00-18:00

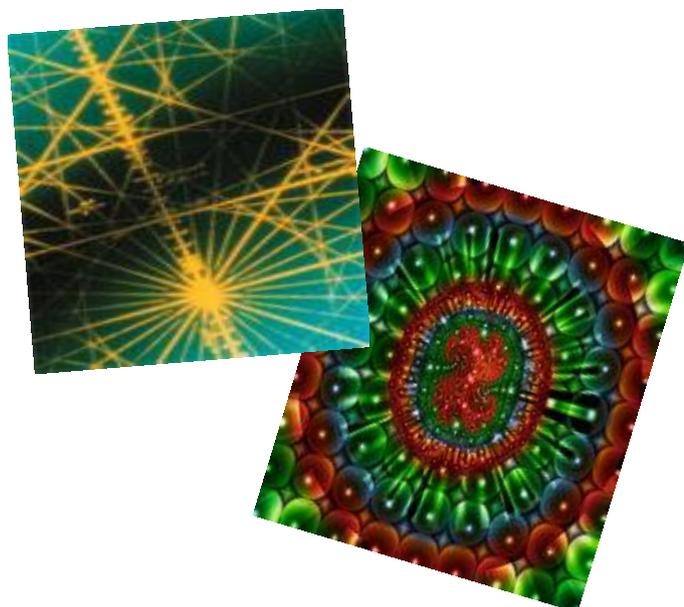
場所：神戸大学理学部B棟428-430号室(B棟4階奥)

相分離界面と極小曲面の正則性理論について

利根川 吉廣 氏 (北海道大学大学院理学研究院)

拡散界面の曲面積を表すギンズブルグ・ランダウ型エネルギーの特異摂動問題を考える。エネルギー最小解については、その界面領域が面積最小曲面に収束することが知られており、またエネルギー最小とは限らない不安定的なものも含む停留点については、一般化された極小曲面に収束する事が知られている。この特異摂動問題について、Schoen-Simonの安定的極小曲面の正則性理論(1981)を本質的に改良した最近のWickramasekeraによる正則性理論を用いることにより、安定的な停留点の界面領域は滑らかな極小曲面に収束することが示せた。この問題の一連の背景や道具立てについて説明する。

同日16:30より 数学教室談話室(B棟4階)において講演者を囲んでお茶会を開きます。
皆さまお気軽にご参加下さい。



問い合わせ先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学大学院理学研究科数学教室
渡邊 清

Tel:078-803-5605

Email:watanabe@math.kobe-u.ac.jp